

取組概要

昭和中学校では、「ふるさとを愛し、体得した基礎学力・創造力で、夢や目標の実現に向け粘り抜く『逞しい生徒』の育成」を目指し、「基礎学力の向上」「創造力・表現力の育成」「自己実現を図る力の育成」を重点目標に設定し取組を進めている。

(佐伯市研究推進連携校「説明する力」)

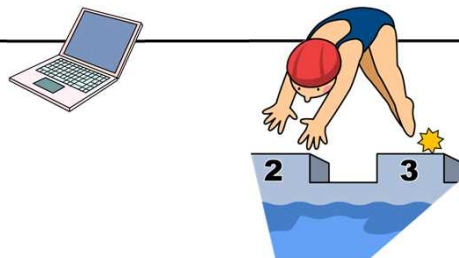
工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆前年度の達成状況、学校関係者等の意見を踏まえて学校の課題を捉えて重点目標を設定し、短期の検証・改善が可能な重点的取組及び取組指標を定めている。
- ◆検証・改善について、学期に2回のプロジェクトチーム会議を設定している。検証に際してはチームリーダーがその方法や時期を示しつつ、進行管理を進めている。

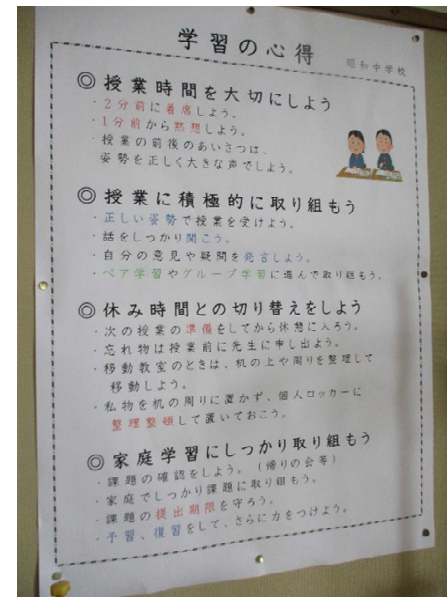
働き方改革の工夫

- ◆業務遂行にあたり、各種アンケートをウェブ回答で行ったり、共有フォルダで資料やデータの共有を図ったりするなど、ICTの活用を推進している。
- ◆部活動について、部活動指導員と連携を図りながら活動している。また、教務主任により部活動終了時刻の徹底を図っている。



授業づくりの工夫

どの教室にも「学習の心得」



教師も生徒も徹底することで
学びに向かう風土を醸成



読んだ本の感想等を
掲示する読書の木

「説明する力」の育成に向けた取組



「説明する力」の育成に向けて、授業の中で「説明し合う場」等を意図的に位置付ける